

太郎さんに関する面白そうなお話があれば、足していってください。

## 妻を二重に「だました」話（外務大臣 麻生太郎）

今月3日、イラクのバグダッドを「電撃訪問」し、先方の首相と外相にお会いしました。イラクで活躍した陸上自衛隊は、役目を終えて帰国しました。それでも日本は、航空自衛隊の働きとODAを両輪として支援を続けますということを、直接伝えに行く必要があると思ったからです。

計画、日程は最高機密でした。私の身辺警護をするSP氏は警察官です。命令なしに行動できません。しかしこの時ばかりは、彼にも警察の上司に黙ってついて来てもらいました。

総勢は私を入れて4人。もちろん皆、家族にも一切伏せたままでの隠密行動でした。あとで聞いたところ、大臣外遊の一行が4名というのは前代未聞だとか。それでできるなら、普段の出張も、大名行列よろしく大人数を連れて行くなとお叱りを受けそうです。

「大臣、現地では自衛隊機と米軍ヘリコプターに乗るので、荷物は機内持ち込み用だけにまとめて下さい」

と秘書官が言います。雑作もないことですが、我が家にはキャスター（車輪）がついた小振りのカバンがありません。

さて困ったと思ったのが、7月末、ASEANの会議でクアラルンプールにいた時です。議事の合間、自由時間はたったの40分です。これを逃すとイラク訪問まで買い物などできませんが、表を探し歩く余裕はありません。

何かないかとホテルの売店に行くと、あるにはありました。女性用のが、でもこれでは帰宅した時怪しまれるし……。思いついたのが、妻をこの際二重に「だまして」しまおうという作戦です。

「ホラ、おみやげ」。そう言って渡すと、妻は素直に喜びました。でその数日後、「オイちょっと、アレ貸してくれないかな」……。と、ここまでは作戦通りでしたが、敵もさるもの。即座にお見通しで、「どこ行くの」と来ました。「危ないところ？」

いろいろ芝居を打って出た割に、現地から届いた写真の私は普段通り寛いでいたらしく、帰国後小泉総理に「緊張感が感じられなかったゾ（笑）」と言われるオマケができました。

平成18年8月31日付「[小泉内閣メールマガジン](#)」より。  
[麻生外相「妻を二重にだました」イラク電撃訪問で秘話](#) - Sankei Web

| どこ行くの? .| /  
' y ' .| オイちょっと、  
( ° ° ,, ) < アレ貸して  
/\ ( \* ° - ° ) \ | くれなひかな  
\ / | | \ ~ \ \_\_\_\_\_  
\ | \_\_\_\_\_

| 危ないところ? .| /  
' y ' .| .....  
( ° ° ,, ) < .....  
/\ ( \* ° - ° ) \ |  
\ / | | \ ~ \ \_\_\_\_\_  
\ | \_\_\_\_\_

# 「半径2メートルの男」について

【日本の底力】麻生太郎研究第35弾【豊かさ実感】

<http://tmp6.2ch.net/test/read.cgi/asia/1156440458/>より

331 名前：121[sage] 投稿日：2006/08/29(火) 11:47:58 ID:fyFdQiK5  
今朝の日経新聞2面。ネット上では読めないっぽいので打ち込みます。  
誤字脱字については、謝罪はしますが(ry

ポスト小泉 攻防最終章 「半径2メートルの男」の悩み

「いい風だ」。残暑も緩む曇り空の二十八日朝。麻生太郎(65)は都内有数の高級住宅地にある自宅の周辺を速足で歩く日課をこなした。午前九時前から約三十分。全国に存在をアピールするため前日に休日返上で三件のテレビ出演をはしごした疲れも、表情からは読みとれない。

自民党各派が安倍晋三(51)支持に雪崩を打つのを横目に、麻生は党员票による「地方の風」に期待する。足がかりは一九七八年に自ら会頭を務めた日本青年会議所(JC)や独自の地方人脈。五年前の総裁選で小泉純一郎が圧勝したのも地方票の動きが大きかった。

「麻生先輩、首相になっても、よろしくお願いします。」二十五日夜、JR八王子駅前のホテル内のバー。麻生はウイスキーのロックを傾けながら青年会議所幹部ら十数人と談笑した。ともに活動したOBに企業トップが多いのは心強い。

しかし劣勢は否定できない。「地方議会を勉強するなら茨城に行かにゃダメ」。二十四日の報道

各社との会見で麻生は唐突に茨城県議会議長で、全国都道府県議会議長会の会長も務める山口武平(85)を持ち上げた。  
(続く)

332 名前：121[sage] 投稿日：2006/08/29(火) 11:50:10 ID:fyFdQiK5

(続き)

茨城は東京に次ぐ大票田だが、それだけではなさそうだ。麻生が党青年局長時代から懇意にして

いた山口は二十三日、安倍と会談している。

政策面で安倍との違いを見せにくいのも痛い。二十四日昼の旧河野派総会。園浦健太郎(34)は「候補が同じ閣内ではジレンマを感じる」と冷めたコーヒーをすすりながらぼやいた。間近に接

すれば好感を持たれるとの意味で周囲が「半径2メートルの男」と名付けた麻生は、一般のイメージ

アップが課題。側近の松本純(56)は最近、ベストセラー「人は見た目が9割」(新潮新書)を麻生に手渡した。

「(小泉に敗れた総裁選から)千九百四十五日経過した。この間、力を蓄えるべく努力してきた」。

二十一日の出馬表明で麻生は思いの強さを日数に重ねた。党内では「ポスト安倍」狙いとうのがった

見方もあるが、世代交代が進んだ場合に時計の針が逆回りする保証はない。

十九日夜、出張先の名古屋から東京に帰る「のぞみ150号」で、愛読する連載ゴルフマンガ「風の

大地」最新話を読みながら、麻生は登場人物のセリフに目を留めた。「この雨上がれば風が吹く。

強い風が吹いてくる」。 (敬称略)

「半径2メートルの男」ねえ。そんなにいうほど一般人には魅力が伝わりにくいかなあ。  
あと、記事のどこかにマンガネタを仕込まないと気が済まんか？ > マスゴミ

そろそろマンガネタがマイナスに作用しかねないように思うのだが、どうだろう？

---